



2021.3.5

No. 326

MONTHLY

# れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F

発行責任者 藤盛敏弘  
TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 『ほっかいどう若者応援プロジェクト』 コロナ禍で困窮する若者・学生を「食」で応援!

連合北海道、北海道労働者福祉協議会、北海道生活協同組合連合会、大学生協事業連合北海道地区は、コロナ禍で困窮する若者・学生の応援(1人暮らしの学生に食の支援)を目的に『ほっかいどう若者応援プロジェクト』を立ち上げた。

ほっかいどう若者応援プロジェクト第1弾として、2月9日、北海道大学での食材支援を実施、初日は510名の学生が訪れた。

北大生協の小助川専務は、「北部食堂にこれだけ学生が来るのは久しぶり。元気な様子を見ることが出来て本当に良かった」と、続々と訪れる学生の姿に目を細めていた。

今回の食の支援に向け、1月27日から北大生協のホームページを通じて事前申し込みを開始したところ、翌朝には予定数の1,000名に達する反響。新型コロナの初確認から1年が経つ今も、コロナ禍で困窮する学生の多さを再認識した。

申し込みの際に寄せられた北大生の声を拾うと、「暮らし」「学び」「コミュニティ」の3つの危機に直面する学生の苦悩が痛切に表れている。

バイト先がつぶれて働けない、コロナ禍でバイト収入が減った、食費にお金を割けない、現金給付が欲しいといった暮らしの窮状を訴える声。教科書代の出費で金銭的に困っている、オンライン授業の課題が多く時間的・経済的に余裕がない、就活相談が出来ないなど修学上の困難。友人や先輩と交流の機会がなくアドバイスや



励まし合う場がなくなった、メンタルヘルス支援を望む声など、コロナ禍で孤立感を深める姿に胸が痛む。

学びの安心を食の安心から支える『食の支援』。

ほっかいどう若者応援プロジェクトは、コロナ禍の厳しい状況の中でも、安心して学び・生活ができるよう、食の支援を通じて若者・学生を応援する。



連合「ゆにふぁん」のサイトにも掲載されておりますので、閲覧して『いいね!』をクリックしてください。



ゆにふぁん





## ほっかいどう若者応援プロジェクト

## コロナ禍で困窮する若者・学生を応援！

一人暮らし  
の  
学生に

## 食の支援を!!



## 支援の背景

- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、学生は今、「暮らし」「学び」「コミュニティ」の3つの危機に直面しています。なかでも、アルバイトで修学費用や生活費を工面している学生は、大幅な収入の減少により授業料等の支払いに窮し、退学を考えている学生も少なくありません。さらに、就職面でも、説明会や面接のキャンセル、内定が取れないといった悲痛な声が上がっており、多くの学生が進路・就職への不安を抱えています。
- コロナ禍においても修学が継続できるよう、文科省や学生支援機構、各大学や地方自治体による支援策が講じられていますが、支援内容や対象学生は限られています。また、道内には52の国・公・私立の大学・短大があり、多数の地方や道外出身者が学んでいます。新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、一人暮らしの学生が、経済的理由で学びと生活を諦めることがないよう、継続的な支援が求められています。

## 支援の目的

- 地方や道外から札幌・北海道に学びに来ている自宅外生に対し、ささやかながらコメなど食の支援を実施するとともに、学校生活を送るうえでの様々な悩み・相談にも対応し、コロナ禍の厳しい状況の中でも、安心して学び・生活ができる環境をつくります。
- 北海道や地元自治体の後援と企業・団体の協力による本事業を通じて、北海道で学び暮らす学生を支援することにより、若者の地元定着や道内企業の人材確保等の課題解決につなげ、人口減少時代における持続可能な地域社会の構築に寄与していきます。

## 寄付のお願い

- 企業・団体、個人の皆様からの協賛金(寄付金)等の寄付を募集します。

## 【協賛金(寄付金)の振込口座】

金融機関	支店名	店番号	口座番号	口座名義人
北海道労働金庫	本店営業部	012	(普通)1116392	ほっかいどう若者応援プロジェクト 代表 杉山 元
北洋銀行	札幌市役所支店	485	(普通)3233602	
北海道銀行	本店営業部	101	(普通)3361983	

※食料の寄付は事務局までお問合せ願います。

※頂いた協賛金や寄付金、品物は、若者・学生支援の目的以外には使いません。

## 実施主体、協賛・協力団体、後援団体

- 実施主体 「ほっかいどう若者応援プロジェクト」実行委員会 (事務局・連合北海道内 ☎ 011-210-0050)  
[構成] 連合北海道、北海道労働者福祉協議会、北海道生活協同組合連合会、大学生協事業連合北海道地区  
[共同代表] 杉山元(連合北海道会長)、出村良平(道労協協理)、麻田信二(道生協連会長)
- 協賛・協力 食・みどり・水を守る道民の会、北海道農民連盟、北海道労働金庫、こくみん共済coop(全労済)北海道推進本部  
北海道大学生生活協同組合、協同組合ネット北海道(8団体)  
北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、北海道漁業協同組合連合会、北海道森林組合連合会  
北海道生活協同組合連合会、生活協同組合コープさっぽろ、北海道労働金庫、ワーカーズコープ連合会北海道事業本部
- 後援 北海道、札幌市、釧路市、小樽市、帯広市、北見市、函館市、室蘭市、旭川市、岩見沢市、江別市、名寄市  
(2月24日現在、申請予定含む)



## 一人暮らし学生への支援内容



### I. 食料物資支援

一人暮らしの学生に主食の米をベースに、缶詰など日持ちする食材とセットにして配付します。

#### ● 配付方法・時期

配付方法(学生への周知・配付場所・時期)は各大学生協と相談の上、決定します。

時期は、2月に第1弾を実施し、5月に第2弾の配付を予定します。

「ほっかいどう若者応援プロジェクト」のスタートアップとなる第1弾では、2月9・10日、北海道大学において、一人暮らし自宅外生を対象に、1,000セットを用意しました。今後、他の会員大学生協等へ支援の輪を広げていきます。

大学生協事業連合北海道地区には13の会員大学生協があり、これら大学の学部生は全体で約4万8千人。そのうち約54%(2万7千人)が一人暮らしと推計され、最も多いのが北海道大学の約8,900人、次いで室蘭工業大学の約2,400人、北海学園大学の約2,200人、酪農学園大学が約1,800人、となっています。



#### ● 支援食料・物資の確保

支援食料として、「JA北海道」から道産米を購入し、缶詰・レトルト食材については当該大学生協にて調達します。これらの資金については構成団体等の支援金をはじめ、第2弾へ向けて、企業・団体様への協賛と食材・物資の提供についてお願いし、これらの活用をはかります。

#### ● 大学生協との連携

大学生協事業連合北海道地区と連携し、各大学や大学生協から学生への周知及びコメなど支援食料の配付について協力をお願いします。

#### ● 事業資金の確保

実行委員会構成団体の支援金のほか、各企業・団体、個人からの協賛金・寄付金を募ります。また、「連合ゆにふぁん」も活用して、広く協力を呼びかけます。

※協賛金(寄付金)の提供などで協力いただいた企業・団体、個人の皆さんをHP等で掲載します。

#### ● 周知・広報

「ほっかいどう若者応援プロジェクト」のホームページで周知・発信します。

北海道内には以下の13大学に大学生協があります。

**国公立** 北海道大学、室蘭工業大学、北見工業大学、小樽商科大学、北海道教育大学帯広畜産大学、はこだて未来大学、釧路公立大学

**私大** 北海学園大学、北星学園大学、札幌学院大学、酪農学園大学、札幌大学  
※この他に北海道には39の大学・短大があります。



### II. 相談案内

#### ● 相談先情報のチラシ・冊子の配付

支援食料と併せて、学校生活・一般生活・アルバイト雇用関係などに関する相談先情報等をまとめたチラシ・冊子等を作成し配付します。



<https://www.wakamono-ouen.com/>





## 北海道LGBTフォーラムに参加

連合北海道は、1月23日(土)にオンラインフォーラムとして開催された「北海道LGBTフォーラム～性の多様性について考える～」(法務省人権啓発活動地方委託事業/主催:北海道)に、パネリストとして参加した。

幹メンタルクリニックの池田院長からは、「性別違和への理解」と題して、LGBTのT(トランスジェンダー＝性同一性障害)に関して、戸籍の性別を変更できる条件や、治療方法と当事者が直面する課題などの講演があった。

性転換手術は保険適用となったが、ほとんどの患者さんが選択するホルモン療法は、保険適用外であることや、戸籍上の性を変更するには性転換手術が必須となっていることへの、国内外からの批判などについても説明があった。

後半のパネルディスカッションでは、連合北海道総合政策局小倉次長から、いわゆるLGBT当事者は各種調査によると8%程度(左利きや血液型のAB型の人と同じくらいの比率)はいること、労働組合はLGBT当事者の方たちを理解・支援する人＝ALLY(アライ)でありたいこと、連合が作成したLGBTやSOGI(性的指向性自認)のチラシや、書籍「LGBTとハラスメント」の紹介などがされた。



幹メンタルクリニックの池田院長(右)

加藤弁護士からは、令和2年6月に施行された労働施策総合推進法指針に、パワーハラスメントの一例として、「労働者の性的指向・性自認や病歴、不妊治療等の機微な個人情報について、当該労働者の了解を得ずに他の労働者に暴露すること」が明記され、事業主、管理職としてLGBT(性的少数者)についても理解を深め、法律を守る重要性が伝えられた。

ハラスメントは人権侵害であり、連合北海道はこれからもあらゆるハラスメントの防止に向けて取り組みを続けていく。

※「LGBT」とは、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(性同一性障害を含む心と出生時の性別が一致しない人)のそれぞれの頭文字で、性的少数者の総称などとして使われています。

おめでとう  
ございます!

### マンスリー新春パズル当選者決定

「MONTHLY連合北海道324号(新春号)新春パズルの正解者は41名でした。抽選の結果、下記の方々(20名)が当選となりました。おめでとうございます。

クロスワードパズルの正解は「衆議院」でした

新春パズルご当選者(敬称略・五十音順)

浅田幸広(自治労)/加藤義信(JP労組)/岸田雅也(電力総連)/幸坂金幸(情報労連)/小林さくら(紙パ連合)/齋藤剛(北教組)/櫻井美樹(自治労)/高橋養一(北教組)/常永美由紀(情報労連)/道場晃一(北教組)/永井守一(北教組)/西岡諭志(UAセンセン)/野坂久美子(自治労)/芳賀雄一(情報労連)/林洋一(情報労連)/藤澤恵子(鉄道退職者の会)/藤澤忠(鉄道退職者の会)/宮本浩二(情報労連)/吉田雅人(自治労)/米山康裕(国公連合)/

おめでとう!



#### 3月の主な動き

■4日(木) 13:30  
中央執行委員会(ウェブ)

■5日(金) 10:00/労働局  
春闘関連労働局要請  
■8日(月) 18:00  
2021春季生活闘争総決起集会(ウェブ)

#### イベントカレンダー

■18日(木) 10:15  
第5回執行委員会(ウェブ)  
■18日(木) 14:00  
第5回地協事務局長会議(ウェブ)